

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学部の基本理念である「子ども理解」の明示方法を検証し、その改善を図る。	→「学部ホームページにおける学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「履修心得における学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「学部ホームページの内容を検討する委員会の有無と開催頻度および検討の進捗状況」	B
2. 学部の教育目標と教育課程の整合性を検証し、その問題点を抽出し、その改善を図る。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討の進捗状況」	B
3. 教育課程の編成・実施方針の学生への周知方法を検証する。	→「履修心得、実習の手引き等、学生向けパンフレットの有無とその継続的改善の有無」「新入生および在学生に対する履修指導、オリエンテーションの開催の有無と頻度」	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

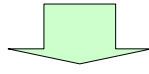
☆ 小項目6.1.1	(方針) 学部の基本理念である「子ども理解」の明示方法を検証し、その改善を図る (現状説明) 学部ホームページ、履修心得に学部の理念・目的・教育目標をわかりやすく示すと共に、幼児・初等学科と臨床教育学科に分けて、学科毎に、学部全体理念が各学科の教育目標や目的とどのように関係しているかを示している。また、ホームページの内容について検討する委員会を設置し、ホームページ上に学部の基本理念である「子ども理解」を明示する方法を検証して、改善を図る考えである。
☆ 小項目6.1.2	(現状説明) 教育課程を検討する委員会を月に1度開催し、教育目標と教育課程整合のための検証を行って、課題改善を図っている。また、実習科目の教育内容について、月1回開催される各実習科目毎の担当者会で検討し、課題改善を図っている。合わせて、教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整を月1回開催される実習委員会で行い、改善を図っている。
☆ 小項目6.1.3	(現状説明) 教育課程の編成と実施方針を学生へ周知するため、履修心得、実習の手引き、学生向けのパンフレットを作成して履修指導を行っている。また新入生には学部全体のオリエンテーションに加えて、学科毎のオリエンテーションを行っている。
☆ 小項目6.1.4	

☆	その他
---	-----

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	カリキュラム委員会、実習担当者会、実習委員会、幼稚園教員・保育士養成課程担当者会および小学校教員養成課程担当者会の設置。3、4年時の研究演習開講のための準備。時間割外の実習の事前・事後指導（土曜日実施）。
☆ 小項目6.1.3	学科別オリエンテーションの実施
小項目6.1.4	
その他	



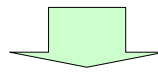
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	各委員会で検討され提案された改善事項について、学部長室会、教授会での協議を経て実施する。
☆ 小項目6.1.3	学科別オリエンテーションの実施後の評価を行い、次年度に向けた改善策を提案する。
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	ホームページを検討する委員会の設置
小項目6.1.2	各委員会の関係の整理
☆ 小項目6.1.3	新入生以外の上級生に対する履修指導
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	ホームページを検討する委員会で、学部の基本理念・目的・教育目標の明示方法を検証し、改善点を提案する。
小項目6.1.2	各委員会の目的を明確にして、委員会間のつながりを整理すると共に、命令系統を明確にする。
☆ 小項目6.1.3	2年生以上の学年別履修指導の内容と方法について検討し、提案する。
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆	その他 (自由記述)
---	---------------

### Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○全体としてきめ細かな自己点検・評価が実施されていて、評価できます。6.1.4の「現状説明」に記述のないのが残念です。

【学内委員】

○小項目6.1.1の現状説明における(方針)は方針そのものを記載してください。また、6.1.2も同じです。

○目標のそれぞれ、また、各小項目に対して、具体的かつ適切に記述され、改善が順調に進展しています。

○小項目6.1.4に対する現状説明を記載する必要があります。

「効果が上がっている事項」で各種委員会名を記載されており、「改善すべき事項」として、各委員会の関係の整理が上がっております。その事に違和感を覚えます。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

6.1.1「現状説明」の(方針)部分を下記のように修正。

(方針) 学部の基本理念である「子ども理解」について学び、「実践力」「教育力」「人間力」を備えた教育者育成を図る。

6.1.2「現状説明」に(方針)を下記のように追記。

(方針) 幼児・初等教育学科と臨床教育学科の理念・目的に合わせた専門教育を行う。同時に両学科共通の理念・目的である「子ども理解」を基礎にした「実践力」、「教育力」、「人間力」を備えた「教育者」の養成のために、総合教育科目と学部共通専門教育科目を2学科の共通プログラムとして提供する。

★ 6.1.4「現状説明」に下記のように追記。

(現状説明) 学部開設時に設定した教育目標、学位授与方針に基づく教育課程を実施しつつ、その編成および実施方針の適切性については、幼稚園教員・保育士養成課程担当者会、小学校教員養成課程担当者会、実習委員会等において、今後の課題を明確化し、完成年度後の改善に向けて検討を重ねている。

6.1.4「改善すべき事項」に下記のように追記。

検証制度の整備

6.1.4「改善方策」に下記のように追記。

教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について検証する。

### Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
